

コミュニティ・スクールを核とした

共に。
周南市

周南市の「地域と“共に”ある学校」 通信

平29年度 第24号

平成30年1月29日発行

周南市教育委員会

学校教育課

地域の教育ネットワーク名「あさぎりネット」

1月18日（木）の第3回須々万中学校区合同学校運営協議会では、学校と地域のめざす子供像を決定した上で、地域の教育ネットワーク（地域協育ネット）の名称を決める熟議を開催しました。



最初に、前回の熟議でグループ毎に提案したキーワードを基に作成しためざす子供像の原案を検討しました。地域の思いを加えて修正し、地域で育てる基本理念として小中学校3校の学校教育目標作成の基盤とすることが決定しました。

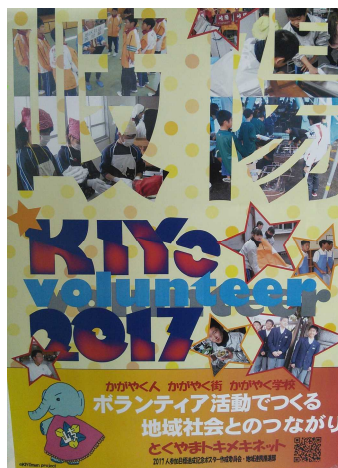
次に、今回の中心議題である、須々万中学校区6地区が一体感をもって子供達を育てるため、地域の教育ネットワーク(地域協育ネット)を簡潔な名称で表現するネーミング作成のために熟議を行いました。

事前に協議内容が知らせてあったことから、各委員が自分の思いを伝えるキーワードを準備して参加していたことで、話題が広がり熱心かつ和やかに協議が進みました。

今回、熟議の始めに一つのネーミングに決定することが宣言されていたので、9つ出された案から時間内に最終決定することができました。選ばれたのは須々万中校区の象徴的な風景であり、美しい朝の輝きの中で子供達の未来を見つめるという思いを表現した「あさぎりネット」です。晴れやかな笑顔での散会が、協議の充実感を物語っていました。

地域に思いを伝えるポスターづくり

1月24日（水）岐陽中校区合同学校運営協議会で披露されたポスターは、学校から地域に向けたメッセージ「かがやく人・かがやく街・かがやく学校」「ボランティア活動でつくる地域社会とのつながり」



というタイトルが表示されています。

学校内のボランティア活動の啓発だけでなく、地域に貢献する学校としての立場を宣言したのもとして、効果的に使っていきたいポスターです。

今、何をすべきかについてマニュアルはありません。その学校区の特徴を生かして、一つ一つの積み木を重ねていくような実践が重要です。

次年度チャレンジ目標を地域とともに考える

1月24日（水）富田東小学校ではプロジェクト部会及び企画推進委員会と学校運営協議会を連続的に開催しました。

前者では、学校課題を分析しつつ、次年度の子供



達のチャレンジ目標を考えていくことを目的としたグループ熟議を行いました。

熟議での案をもとに、今後、どんなことにチャレンジするか、そのために学校として仕組むべきことは何か、それを地域や家庭がバックアップできるか、達成できる具体的な目標（値）はどうするのか、子供達にどのように伝えると効果的か等、様々な視点をもちワクワクする思いで次年度を迎えたいものです。